

News Release



PLAYERS ×



品川女子学院

SHINAGAWA JOSHI GAKUIN

2020年パラリンピックを視野に入れ、障害者 × 女子中高生のワークショップを開催

品川女子学院は、様々な先進的な教育を行っており、28歳時に社会でいきいきと活躍する女性を目指す、「28project」を実践しています。

2020年東京パラリンピックを控え、中高生がダイバーシティの理解を深めることを目的として、障害者と周囲の手助けしたい方をLINEでマッチングするサービス「&HAND」や、発信機内蔵の点字ブロックで視覚障害者の移動を支援する「VIBLO」などを手掛ける一般社団法人PLAYERSと共同し、障害者の方々と直に触れ合いながら学ぶワークショップを開催します。

「学校では教えてくれない実社会の体験授業」の実践例として是非ご取材いただけたらと存じます。

一般社団法人PLAYERS × 品川女子学院 特別講座概要

光のない世界・音のない世界を体験してみよう

ダイバーシティ ワークショップ

[体験]

視覚障害（光のない世界）
聴覚障害（音のない世界）
の体験



[ゲーム]

無音ゲーム
読話ゲーム
目隠しゲーム
など



[対話]

視覚障害
聴覚障害
との対話



[アイテム]

アプリケーション
IoTデバイス
などの紹介



日時 9月28日（土）13:30～17:30

会場 品川女子学院 **参加者** 中1～高2生徒30名

※ゲストとして一般の視覚障害者の方・聴覚障害者の方が参加します。

本授業の背景と目的

2018年に日本財団が行った「18歳の意識調査」によると、障害を持つ方に対して**手助けした経験がある人は45.8%**。手助けをしなかった理由は、「**どう手助けしたらよいか分からなかった**」(34.6%)が最多でした。また、機会はあったが、手助けをしなかった理由として、「**どう手助けしたらよいか分からなかった**」(34.6%)が最多、「その必要がないと思った」(24.0%)、「なんとなく」(19.5%)が上位に挙がりました。**障害者に対する理解の乏しさが、手助けをすることへの障壁となっているといえます。**

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、多様な人々と接する機会が増えることが予想されます。関東圏域では中高生ボランティアの募集も開始されました。

これからの社会を担う中高生が障害者への理解を深めることで、様々な人が生きやすい世の中を作ることにつながることを期待して、本講座を開催する運びとなりました。



一般社団法人 PLAYERS について

PLAYERSは「一緒になってワクワクし世の中の問題に立ち向かう」をスローガンとし、企業に勤める有志メンバーによるチームです。社会が抱える様々な問題に対し、リサーチ・コンセプトデザイン・UXデザイン・プロトタイプ開発をアジャイルで実行することを得意とし、大企業とのオープンイノベーションやコミュニケーションデザインなど、あらゆる手段で解決へと導いていきます。

◆団体 web サイト：<https://www.players.or.jp/>

特別講師

タキザワケイタ

ワークショップデザイナー・サービスデザイナー / 一般社団法人 PLAYERS 主宰・「&HAND」プロジェクトリーダー

新規事業・ブランディング・人材育成・組織開発など、企業が抱えるさまざまな課題の解決に向け、ワークショップを実践する傍ら、PLAYERSを主宰し社会課題の解決にも取り組んでいる。

筑波大学 非常勤講師 / 青山学院大学 ワークショップデザイナー育成プログラム 講師



品川女子学院について

28歳になった時に社会でいきいきと活躍する女性を育てるライフデザインを考える「28project」を実践する進学校です。高校1・2年生がクラスで1つの模擬起業をする「起業体験プログラム」や、企業とコラボレーションした「特別講座」など、キャリア教育・ICT・起業家教育において、先進的な教育を行っています。

理事長：漆紫穂子 校長：仙田直人

◆学校 web サイト：<http://www.shinagawajoshigakuin.jp/>

◎個別取材について

講座の様子のほか、参加者・主催者の個別の取材にも応じさせていただきます。

■ニュースリリース・取材に関するお問い合わせ■

品川女子学院 広報部 竹内啓悟

TEL:03-3474-4008 FAX:03-3471-4076 Mail: k-takeuchi@shinagawajoshi.ed.jp (竹内)